

【定時制】 平成 29 年度 学校評価

視点	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価	
		具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程・学習指導	ものづくりをベースにした定時制総合学科の特色を活かし、多様な単位修得機会の充実と基礎的な学力の定着を推進する。	<p>①外部との連携を図り、校外講座、技能審査、実務代替、ボランティア活動、インターンシップ、定通併修などの取組みをきめ細かく支援する。特にインターンシップは受入先の開拓に努める。</p> <p>②生徒が主体的・協働的に取り組む機会を授業の中で効果的に取り入れる。</p>	<p>①多様な生徒にきめ細かく対応し、多くの生徒が単位修得に向けて様々な取組みを活用することができたか。（多様な単位修得の状況、アンケート結果等）</p> <p>②生徒が充実感を持ち、基礎的な学力の定着を図ることができたか。（アンケート結果等）</p>	<p>①生徒それぞれの把握に努め、ひとり一人の状況に応じた単位修得の手段を提供している。 インターンシップは仲介業者と連携しさらに発展する基盤を作った。</p> <p>②新学習指導要領に示される「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業内容にシフトするための研究を教員個々はもとより、組織的に実践していく。</p>	<p>①生徒ひとり一人の状況を把握し、それぞれの生徒にあった指導を継続する必要がある。 単位修得の様々な手段を生徒によりわかりやすく提供していく必要がある。</p> <p>②授業見学等の機会を増やし、教員がお互いに授業改善に努めていく必要がある。</p>	<p>○評価の手段であるアンケート自体の実施に言及されたい。評価の数値化が困難ならば、行動の変容・状態等を追記することが適当である。</p> <p>○多様な生徒に対し単位修得の手段を提供し、3修制を活用できるのは良い。</p> <p>○生徒の現状把握を強化して、単位修得指導はもちろん、生徒自身が広い視野に立ち、進路に対するこだわりや意欲を持って目標達成に向かう姿勢を育ててほしい。</p> <p>○「+α」の勉強をしたい生徒の支援も考えてほしい。</p>	<p>○校外講座、技能審査、実務代替、ボランティア活動、インターンシップ、定通併修などの単位修得の手段を提供することができた。 インターンシップについては、今年度より本格的に行い、仲介業者との連携の基盤を構築することができた。</p> <p>○生徒による授業評価アンケートを定期的に行い、生徒の状況把握に努めた。アンケート結果を参考に、授業改善を行った。</p> <p>○生徒の状況把握を行い、「主体的、対話的で深い学び」を取り入れた授業展開に努めた。</p>	<p>○生徒の状況により、利用できる単位認定の機会が異なるため、様々な手段を提供できるようにすることが必要である。</p> <p>○「主体的、対話的で深い学び」を取り入れた授業展開を進めていくために、教員間での授業改善への取組を継続していく必要がある。</p>
2 生徒指導・支援	「豊かな社会性の育成」ならびに「組織的な教育相談体制の充実」	<p>①生徒相互の協力と主体的な活動を支援し、生徒会活動・部活動及び学校行事のさらなる充実を図る。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心とするケース会議を適宜行い、支援が必要な生徒の情報を共有するとともに、SC・SSWとの連携を強化し、生徒がより良い学校生活を送ることが出来るよう適切な支援を行う。</p>	<p>①部活動や学校行事は活性化されたか。（部活動加入率及び活動実績、行事参加率及びアンケート結果等）</p> <p>②特別な支援が必要な生徒に適切に対応し、改善を図ることができたか。（SC・SSWの活用度等）</p>	<p>①HR等で各行事への参加を呼びかけ、行事終了後には振り返りアンケートを実施して生徒の意見を求め、新たな企画を募集している。 年度途中で、随時部活動の紹介や終業式等で大会結果の表彰を行い、生徒へのアピールを続けている。</p> <p>②毎月の教育相談定例会を有効活用し、SC・SSWによる個別生徒への具体的支援を関係教員にダイレクトに伝えるシステムができていく。</p>	<p>①生徒数の減少とともに部活動や学校行事への参加が低下している。引き続き、年度当初、途中、終業式等での生徒への働きかけや工夫を凝らしたイベントを考えたい。</p> <p>②教育相談定例会を中心に、SC・SSWとの連携がとれている。各担任も直接SC・SSWに相談できる雰囲気が整っている。今後は保護者との連携を重視したい。</p>	<p>○目標到達に向けた進行状況が確認でき、その効果が期待できる。</p> <p>○磯工祭への積極参加は毎年良いと感じている。部活動参加生徒が減少傾向にある中で、素晴らしい成績を残していることに驚いた。</p> <p>○生徒数の減少傾向は深刻。入学者数の獲得に向けて対策を講じる必要がある。入学した生徒を卒業まで導く支援強化も忘れてはならない。</p>	<p>○学校行事や部活動における今年度の実績は概ね満足できる。次年度へ向けてさらなる取り組みが求められている。</p> <p>○教育相談の環境が整えられた。職員やSC・SSWのメンバーが入れ替わっても組織としての対応を継続させる。</p>	<p>○生徒が参加しやすい学校行事を企画する必要がある。生徒会を中心に生徒の活発な意見を取り入れたい。</p> <p>○生徒数の減少は定時制全体の問題であり、入学者の増加は難しい。ご指摘の通り、入学した生徒を卒業まで導く生徒支援の強化に努めたい。</p>

【定時制】

視点	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価		
		具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
3	進路指導・支援	キャリア教育と進路指導の充実を図る。	<p>①消費者教育及び政治参加教育を含めたキャリア教育を推進する。</p> <p>②ガイダンス機能をさらに充実させ、外部機関との連携を積極的に拡大して、生徒個々の進路希望実現に向け、支援する。</p>	<p>①「社会とかかわる力」は身に付いたか。（アンケート結果等）</p> <p>②就職・進学の実現を図ることができたか。</p>	<p>①「産人」「総合」等のガイダンス的授業とともに、各年次において時宜に応じた様々な講座を実施している。</p> <p>②就職・進学等生徒それぞれの進路希望実現に向けて、取り組んでいる。特に面接指導や作文指導はきめ細かく実践できた。</p>	<p>①生徒の状況にあった講座等の検討を進めていく必要がある。</p> <p>②生徒それぞれの進路希望の実現にむけ、よりきめ細かく取り組んでいく必要がある。</p>	<p>○アンケート結果に言及されたい。</p> <p>○面接・作文指導はきめ細かく実施とあるが、さらに課題として「よりきめ細かく」とは具体的に何か。</p> <p>○1～4年次全体に外部講師による面接指導等、きめ細かい対応は定時制の良さである。働きながら学び、進学する生徒もいて素晴らしい。</p> <p>○職場見学等、きちんとした態度で実施できるよう、事前の個人指導も必要である。</p>	<p>○「産人」「総合」等の授業において、消費者教育など様々な講座を実施することができた。講座ごとの提出物（アンケートも含む）によると講座の内容を理解していることや今後考えていきたいと思っている生徒が多くいることがわかった。</p> <p>○生徒一人ひとりにあった面接指導や作文指導を放課後等の時間を活用し、行うことができた。生徒が安心して就職試験等を受けることができるように取り組むことができた。</p>	<p>○生徒それぞれが授業を通して、考えることができるように様々な講座を継続して行うことが必要である。</p> <p>○様々な進路希望に対応するために、生徒の状況把握を常に行っていく必要がある。</p> <p>○生徒への丁寧な説明を行い、生徒が相談できる環境をより整備していく必要がある。</p>
4	地域等との協働	保護者や中学校・地域（町内会）に本校の教育活動を積極的に広報し理解を求め、双方の連携・協働を活発にする。	<p>①中学校や地域の諸機関等との連携を密にするとともに、情報発信を工夫して学校案内や生徒支援の充実を図る。</p> <p>②PTA活動を活性化させ、保護者の学校行事への参加・協働を推進する。</p>	<p>①広報活動を充実させ、学校生活等について志願者に丁寧に説明することができたか。また、地域と連携し教育活動の充実にかすことができたか。</p> <p>②文化祭や校外行事への保護者の参加・協働を推進することができたか。</p>	<p>①学校案内のパンフレットを作成し、学校説明会で配布するとともに、来訪者に対し説明を行っている。また中学校訪問を行う中でさらに地域との連携を強め、本校の教育活動の理解と充実にも努める。</p> <p>②地域貢献活動への参加、文化祭の出店を通して、保護者の参加・協働を推進することができた。今後の年度内の行事でも引き続き保護者の参加を呼びかけていく。</p>	<p>①今年度はパンフレットを年度の早い時期に作成し、より最新の情報を提供することに努めた。また近隣の中学校を訪問するとともに、個別の見学希望者にも丁寧に対応する。</p> <p>②通知の配布等を通して、より多くの保護者の参加を呼びかける。また学校行事を見学しやすい雰囲気をつくる。</p>	<p>○パンフレット早期作成は広報活動の充実において評価できる。</p> <p>○保護者の学校行事への参加・協働が実践されている。定時制の良さが地域や中学校に伝わるとよい。</p> <p>○見学者が来校したときの印象は重要なので、授業に取り組む意識づけを普段から指導してほしい。</p>	<p>○パンフレットを早期に作成することにより、中学生や受検予定者の、進路決定に際し、有用な情報を提供することができた。</p> <p>○保護者に学校行事への参加・協働を呼びかけることにより、学校と保護者の連携・協力を進めることができた。</p> <p>○普段の授業の様子も見てもらえるような雰囲気づくりを行っていく。</p>	<p>○次年度も同様に年度の早い時期に学校案内パンフレットを作成する。</p> <p>○保護者や地域の方々が見学・参加可能な行事が他にもあるか検討し、連携・協働をさらに進めていく。</p> <p>○学校へ行こう週間を利用しての授業見学を呼びかけていく。</p>

視点	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価	
		具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5 学校管理・ 学校運営	<p>事故・不祥事を防止する。</p> <p>校内の施設・設備の安全性を高める。</p>	<p>①「事故・不祥事ゼロプログラム」に則って、職員研修や啓発活動等を適宜実施し、継続的な注意喚起を推進する。</p> <p>②既存の施設・設備の転倒防止措置を徹底するとともに、校内の危険箇所を総点検し、不慮の事故防止を推進する。</p>	<p>①「事故・不祥事ゼロプログラム」を効果的に実施し、事故・不祥事を防止することができたか。</p> <p>②施設・設備の安全対策を強化することができたか。</p>	<p>①職員会議に併せて職員研修を行い、事故・不祥事の防止に努めている。今後も引き続き職員研修や啓発活動を行っている。</p> <p>②校内に貼っている蓄光テープの破損箇所を点検し、貼りなおしの要不要を検討している。今後も施設・設備の点検を行い、安全対策を図っていく。</p>	<p>①講義形式に加え、協議・演習も取り入れることによって、よりすすんだ職員研修への参加を促していく。</p> <p>②蓄光テープは高価なため、貼りなおす必要がある箇所を精選する。並行して施設・設備のこまめな安全点検を行っている。</p>	<p>○蓄光テープ点検による事故防止は評価できる。転倒防止措置の徹底はどうか。</p> <p>○今後も職員研修や啓発活動を継続し、事故・不祥事防止に努めて頂きたい。</p> <p>○問題行動については保護者と連携し、きちんと対処する。家庭訪問等による粘り強い指導を継続することが重要である。</p>	<p>○生徒数の変動等に伴い、教室のロッカー移動が毎年必要なため、固定が難しい箇所があるが、転倒防止を含めた安全対策を今後も検討していく必要がある。</p> <p>○職員研修を通して事故・不祥事防止に努めた。</p> <p>○問題行動が起きた際の実家庭との連携について意識した学校運営を行う必要がある。</p>	<p>○棚等の備品を必要以上に高く積み上げないように呼びかけることも含めて、安全対策を考えていく。</p> <p>○職員研修を引き続き実施していく。</p> <p>○問題行動に迅速に対応できるように、日頃から学校行事への参加・協働を呼びかけるなどして保護者や地域との結びつきをより強くしていく。</p>